

いずみ会/旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報いずみ 第45号

発行/いずみ会 編集/いずみ会会報部

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-3-1 都立大泉高等学校内

主な記事

- 2-4 執行部関係
- 5 母校関係
- 6 恩師近況
- 7 いずみ会文庫
- 8-11 同期会だより 他
- 12 ご案内

本会ホームページ今春開設

<http://www.izumikai.net>

IT革命という言葉が新聞紙上を飾り、21世紀に入ってから情報手段の多様化、高速化は目を見張るものがあります。タイトルの「http」をご覧になった会員の中には、「とうとううちにもその波が」と感じられた方もおられるでしょう。いずみ会でもかねてから検討を重ね、昨年度の事業計画の一つとしてホームページ(H.P)開設を計画しておりましたが、本年3月にスタートを切る事ができましたのでご案内いたします。

的、地理的、健康上の理由をたやすく飛び越えることができるのです。いずみ会H.Pを開くと、まず思い出深い大泉高校正門の桜のトンネル、それも今年の姿が現れます。ページを繰っていくと次から次へと玉手箱のようにいずみ会のニュースや行事予定が現れます。

なぜ net?

ITに関しては、好き嫌い両論でしょうが、本会の「会員相互の親睦」という一番の目的遂行一つとっても多くの理由で有効な手段と思えます。例えばふと母校を思いだし、「学校へ行こう!」と思いついたとき、いっぞや受け取った覚えがあるいずみ会報を探し、行事や地図を確認するには少々手間がかかります。そんな時パソコンに向かい、<http://www.izumikai.net>をクリックすると、いずみ会の行事(例えば総会や母校文化祭)の日程が即時にわかり、また恩師の近況や同期会情報も手に取るようです。また、遠隔地で実際には大泉に行けなくても、デスクトップ上の近況で多くの会員と一体感を味わえる。それは会員それぞれの時間

さて、冒頭の「http://」をドメイン名といい、それはホームの氏名のようなものなのですが、終わりの方に「net」がついています。普通、組織はorganizationから「org」を使いますが、H.P開設準備委員会での名前を決める時、委員はこのH.Pが同期会、クラス会、OBOG会、同好会等のいずみ会つながりの様々なネットワークキーステーションになればいいという願いから、あえて「net」を選びました。今後、更にいずみ会の会員相互の親睦の輪が広がっていくことをイメージしています。

H.Pの開設の際には「現在のいずみ会報で十分ではないか」という声もあり、またパソコンを持っていない会員への情報の不平等性、危険性等、検討を重ねてまいりました。そして「予測できないH.Pの不完全性や中立性の維持管理を懸念するより、

それにも勝る利点をとる」との結論になりました。

今2万名の会員数を越えるいずみ会は、もっと積極的な会員の参加を望んでいます。総会・懇親会への参加、住所等変更登録の徹底、母校環境への関心等、一人一人ができる、またタイムリーな同窓会への参加を求めています。このH.Pが、今までの会報を受け取るだけの会員から、

積極的に声や力をお寄せくださる会員になることへの後押しになることも期待しております。

作り手が役員や会報部を中心とした素人で、他に比べると少々見劣りするかもしれませんが、しかし産声を上げたばかり、誰でもが参加出来る、判りやすくシンプルなH.Pは、きつと会員皆様の手で大きく育ってゆくと思えます。

「いずみの広場」開設

吉野尚也前校長が産みの親である「いずみ会文庫」は本号7面に記事がありますが、「いずみ会資料室」の構

の歴史を肌で知ってもらおうというアイデアです。

想も同時に発案されました。母校の歴史が偲ばれるセピア色の写真や沢山の小さな傷が残る木製の机など、思い出のしみ込んだ品々を一箇所に集め、現役生徒に見てもらい、母校

既に会員から寄せられた、一桁の番号がついた卒業証書、甲乙丙の通知表や新聞記事などが保管されています。(写真)ここに来て数も多くなり、保管場所としていた校長室では手狭になってきたので、学校側のご配慮で、四号棟3階にある図書室入口脇のコナラーに引越すことになりました。



これらは我々にとっても大変なお宝、いずみ会としても保管の方向を捜していたところ、母校60周年記念協賛事業の募金が始まり、お蔭で会員の皆様から沢山のお気持ちを頂くことができました。そこで学校とも相談をして、その一部を使わせて頂き、展示、保管するコナラーを整備致しました。そして、このたび田中会長直筆のさくら材の表札が掲げられた「いずみの広場」として新たにお披露目することになりました。

このコナラーが、生徒といずみ会会員が一緒に集い、いずみ会の歴史と思いを確かめあう充実した「広場」になることを期待します。

本年度
いずみ会総会・懇親会 11月11日(日) 午後1時~ 母校にて開催 (詳細は12面に)

本年度 定時幹事総会報告

本年度の定時幹事総会は、6月9日(土)母校会議室で幹事54名と1名のオブザーバーの出席を得て、開催されました。

司会の真柳理事が開会を告げ、田中会長の挨拶のあと、議事録署名人(岡崎美代子幹事・高8、大石憲司幹事・高29)を選任し、議長に野島理事が選任され議事に入りました。

議事：(1)平成12年度事業報告(大場副会長)、収支決算承認の件(土肥理事)(2)2000年名簿収支決算承認の件(土肥理事)(3)平成12年度監査報告の件(春日監査役)の報告があり、満場の拍手で承認されました。

(4)平成13年度事業計画案(大場副会長)、予算案承認の件(土肥理事)の説明があり、これも満場の拍手で承認されました。

定時幹事総会 出席者一覧

登録幹事総数：601名、出席幹事数：54名、委任状提出幹事数：224名
出席幹事氏名(敬称略)
(中1)小川喜卯六、春日孟、(中2)菊谷義美、田中英道、(高2)桜井宏、(高4)佐々木健雄、(高5)青山喜彦、(高6)篠田昭、高橋保孝、梅澤やよひ、(高7)山田清子、(高8)岡崎美代子、(高9)清水信、相原英子、大野史子、武市則昭、北條勝巳(オブザーバー)、(高10)井上康子、西谷和子、野口悦子、小川皓司、角原佑一、羽根田達治、前川禎男、(高11)加藤多鶴子、広瀬芳子、北上俊人、関根強一、富田順子、(高12)相川光夫、(高13)山本章義、山田秀之、(高14)布施百合子、(高16)鈴木哲、大場修一、(高20)菊池素子、土肥曉美、讀井正光、(高21)植村久、片柳法子、原田京、鈴木文明、岩城隆就、(高24)真柳仁、(高25)吉田寛、(高29)野島陽子、西澤正博、(高29)大石憲司、大久保靖、(高30)山本孝文、(高31)松田美知代、原秀年、高瀬浩和、(高41)山田毅、(高53)山元早苗(敬称略)

認められました。なお、承認の過程において、同期会の活性化・支援策(貸与する備品類の充実など)や、若手幹事の取り込み策(褒賞制度の設置など)について、積極的な意見交換がなされ、この点に関しては、今後の検討課題となりました。

続いて、報告事項に入りました。報告事項：(1)名簿部より2000年名簿発行の御礼、(2)会計部より終身会費納入者のホームページ上の氏名公表の件、(3)会報部より掲載情報提供のお願い、(4)総務・企画部より幹事総会の連絡形態の件、(5)現教員植村先生(高21)より母校の現状の紹介、(6)母校60周年記念事業担当より母校の動きについて、報告がありました。

以上で議事がすべて終了し、引き続き同会場で懇親会が催されました。

幹事の皆さんへ出席を!

いずみ会の活動方針や予算など、会の重要な決定事項は、年一回の定時幹事総会に諮られ、承認を受ける事になっています。また、この定時幹事総会の開催には、幹事の合計数の3分の1以上の出席(欠席者の委任状提出を含む)が、絶対条件です。今年度の状況を見ると、幹事総数六〇一名の内、二七八名から出席・委任状提出を頂戴しましたが、三二三名(54%)の方からは残念ながら連絡のない状態でした。

各期を代表する幹事の皆さんの参加(委任状提出)や期での幹事交代など、切にお願いする次第です。

名簿発行特別会計

(平成11年4月1日～平成13年3月31日 単位：円)

収入の部	
1 名簿引当金繰り入れ	2,800,000
2 名簿引当金利息等	69,482
3 名簿売り上げ	2,145,000
4 広告売り上げ	1,180,000
5 寄付	65,000
収入合計	6,259,482
支出の部	
1 会合費	49,558
2 販売促進費	115,815
3 広告募集費	39,762
4 データ調査費	216,803
5 データ修正・加工費	21,262
6 記事作成費	0
7 印刷費	3,827,709
8 運搬費	0
9 発送費	414,730
10 雑費	30,611
支出合計	4,716,250
収支の部	
収入合計	6,259,482
支出合計	4,716,250
収支差額	1,543,232

*収支差額金 1,543,232円の処分については、平成12年度末に名簿発行引当金へ全額組み入れることとしました。

いずみ会財産

(平成13年3月31日現在、単位：円)

一般会計次期繰越金	7,813,261
前受会費等及び利息	16,798,299
前受金 60周年協賛金	1,752,580
名簿発行引当金	2,743,232
合計	29,107,372
同窓会名簿(2000年発行)	1,346冊
パソコン(平成7・8・9・12年度に購入)	4台
プリンター(平成7・10年度に購入)	2台

平成12年度 収支決算

収入の部 (単位：円)	
1 新入会員入会金 (285人)	1,425,000
2 本年度分会費 (2571人)	2,571,000
3 本年度分寄付	644,500
4 雑収入	30,652
5 総会参加費	338,000
当期収入合計	5,009,152
支出の部	
1 総会費	445,719
2 役員、幹事会合費	359,999
3 監査役会費	9,375
4 広報費	2,432,105
5 会費徴収経費	114,825
6 名簿調査管理費	189,846
7 母校連絡費	151,000
8 新会員向け名簿作成費	0
9 雑費	18,589
10 名簿積立金支出	600,000
11 予備費	118,513
12 設備、什器、備品費	311,010
当期支出合計	4,750,981

収支の部	
1 当期収入合計	5,009,152
2 当期支出合計	4,750,981
当期収支差額	258,171
前期繰越金	7,555,090
次期繰越金	7,813,261

平成13年度 収支予算

収入の部 (単位：円)	
1 新入会員入会金(290人)	1,450,000
2 本年度分会費(2589人)	2,589,000
3 本年度分寄付	695,000
4 雑収入	50,000
5 総会参加費	300,000
6 2000年名簿等売上	90,000
当期収入合計	5,174,000
支出の部	
1 総会費	430,000
2 役員、幹事会合費	350,000
3 監査役会費	10,000
4 広報費	2,540,000
5 会費徴収経費	119,840
6 名簿調査管理費	200,000
7 母校連絡費	200,000
8 新入会員活性化費	40,000
9 雑費	50,000
10 名簿積立金支出	200,000
11 予備費	100,000
12 設備、什器、備品費	500,000
13 業務委託費	400,000
当期支出合計	5,139,840

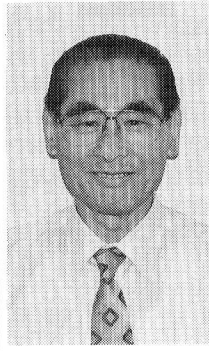
収支の部	
1 当期収入合計	5,174,000
2 当期支出合計	5,139,840
当期収支差額	34,160
前期繰越金	7,813,261
次期繰越金	7,847,421

一人一人のお力を

会長 田中英道(中2期)

今年も暑い夏が過ぎ、爽りの秋が参りました。会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。

母校は今年創立60周年を迎えましたが、創立当初から「叡智と健康」の言葉のもと、情熱的な教職員が一丸となり、勉強も運動もバランスの良い人物の育成が受け継がれてきました。戦後間も無い頃から学問的な教育ばかりでなく、運動技術や芸術活動などにも積極的に取り組み、その伝統は今も多くの大会に選手を送



り出す形で継承されています。そして現在いずみ会の会員にも球技や合奏・合唱などのグループに所属し、後輩を支援しつつ、自らも練習を重ねているシルバーも数多く見うけます。

先にも述べたように年齢は違ってもいずみ会は、2万名以上の人材の宝庫です。私も全会員と直接話ができるようなに楽しいかと思うのですがそれは殆ど不可能なことでしょう。しかし、年間の活動をする中で、私達は実際にお目にかかれな

ては、「若い世代の積極的な参加」を呼びかけており、彼らが参加しやすい会を多面から検討しておりますが、若い世代というのは、大学や実社会に飛び込んだばかりで、いずみ会に目を向ける暇がないというのが実体ではないかと思えます。しかし頭の片隅にいずみ会の存在を置いておいて欲しいのです。多くの先輩がそうであったように、母校を卒業した後、数年経つと、母校には戻る事ができ

ませんが、いずみ会はあなたが帰れる場所と時間を用意しています。そういうことはこの人間関係の複雑な社会では極めて大切なことだと思います。今回いずみ会のホームページを開設したのも、若い世代の方々がビジュアルな面から、いずみ会をもっと身近に感じ、その輪を生活の一部にして、活動してもらいたいと思

っているからです。お一人お一人のますますのご支援をお願いします。

平成13年度 事業計画

第1 総会の開催

平成13年11月11日(日)、母校にて開催予定。本年度総会後の懇親会の企画立案・運営については、旧制中学校の卒業生、及び卒業期の下一桁が1の期の方々に「1の会」を結成していただき、お願いすることとする。

第2 定時幹事総会の開催

平成13年6月9日(土)、母校にて開催予定。定例の議事に関する審議を予定。

第3 会報の発行

会報いずみ第45号を9月下旬に発行予定。内容としては、いずみ会活動報告、母校及び恩師の近況、会員情報、ホームページの広報、次年度の役員選挙告示等の記事を予定。

第4 名簿の整備

前年度完成した2000年名簿をベースに、今後の更新態勢の簡素化等、効率化のための準備を行なう。

第5 会員との情報交換の拡充

スタートしたいいずみ会のホームページに対して、会員の意見も伺いながら、より良いものへとしていく。

第6 母校との連携

母校60周年の時期でもあり、従来以上に緊密な連携を保ちながら、良好な関係を維持していく。また、例年どおり、関係強化のための懇談会を開催する。そして、3度目となる文化祭への参加も行なう。

第7 母校60周年記念事業への協賛

本年、母校は創立60周年を迎え、10月13日(土)には、記念式典も開催される。協賛事業を通じて「いずみの広場」の整備や母校の環境改善に、可能な範囲で寄与していく。

第8 若手幹事との協力態勢の確立

新幹事(高53期)だけでなく、卒業後数年の若手幹事との間で、いずみ会業務を通じての協力態勢の確立を目指すとともに、あわせて懇親も深めていく。

第9 入会式の開催

卒業式予行後に入会式を開催し、新卒業生(高54期)をいずみ会の会員に迎え入れ、また、会長より新幹事の就任をお願いする。

第10 事務局体制の拡充

いずみ会の各種業務の充実とともに、大きな負荷がかかる事務局サイドの負担軽減を目的とし、一部事務作業の外注化を試行する。

高53期入会式

寒の戻りのような肌寒さを感じる3月12日午後、母校体育館3階アリーナで行われた卒業式の予行のあと、植村先生(高21期・国語科)の司会で、高校第53期新入会員の入会式が行われました。

田中会長が登壇して挨拶し、同窓会の意義や幹事の役割を説明する中で、大泉高校の卒業生が4人も母校で教鞭をとっていることや、有名人

となった各界の卒業生の名前を紹介すると、会場に「ホオツ」といったどよめきが広がりました。

そのあと、クラス毎に選出された新幹事が一人ずつ壇上に呼び上げられ、計15名の新幹事が全員に紹介され、会長から委嘱状が手渡されました。

新幹事名簿 高53期

1組	霜出 謙太郎
	山本 早苗
2組	阪口 敦也
	猪原 和生
	母袋 恵美子
3組	中村 喬
	小倉 百合子
4組	藤勝 大介
	宮本 綾子
5組	富所 歩
	宮本 遼子
6組	富田 聡史
	高木 綾子
7組	西 敬徳
	武藤 亜紀子
	以上15名
	(敬称略)

平成12年度 活動報告

総会・懇親会

●平成12年10月22日(日)、母校視聴覚室で総会、会議室で懇親会を開催した。懇親会は卒業期の下一桁が0の期が「0の会」を結成し、企画立案、運営にあたり、会員177名と恩師の参加を得て、成功裡に終わった。

定時幹事総会

●平成12年5月27日(土)、母校会議室にて開催し、幹事59名の出席があり、活発な質疑が行われた。「平成11年度事業報告・決算、平成12年度事業計画・予算案」が承認された。また、役員改選、規約改正、ホームページの開設等を決議した。

名簿

●足掛け2年にわたるプロジェクトであった、「2000年名簿」を、平成12年10月に発行。印刷部数2500冊、内、新入会員配布分約1500冊、年度末段階での販売部数715冊となっている。

●平成13年3月11日(日)開催の名簿担当者との会合では、38名の参加を得た。新名簿が発行できた事の謝辞とともに、今後も各期名簿の一層の充実に向けての協力をお願いした。

広報

●平成12年9月12日、「会報いずみ」第44号を17000部発行、約16500名の会員に発

送し、また、教職員及び新卒業生に配布した。本会の活動報告等のほか、新役員紹介、母校及び恩師の近況、母校60周年記念事業への協力依頼、新名簿販売の案内などを掲載した。

●定時幹事総会の決議に基づき、いずみ会の活性化を図るため、いずみ会のホームページを平成13年3月27日に開設した。

新幹事

●懇談形式ではなく、実際の仕事を手伝っていただく形で活動を通じて、同窓会活動への理解を深めてもらっている。

●平成12年3月12日(月)、母校体育館において新卒業生(第53期)291名に対し、入会式を開催した(会員総数：21426人、物故者を含む)。また、田中会長名で、15名の方に期の幹事への就任をお願いした。

母校

●平成12年7月15日(土)、高橋校長はじめ、高校関係者8名と会長以下6名が懇談会を開催し、お互いの協力を確認した。

●平成12年9月23日(祝)、前年度に引き続き母校文化祭に参加し、日本ラグビー協会理事・日比野弘氏(高6)の記念講演(演題「大泉 わがラグビー人生のふるさと」)を開催し、好評を博した。

●母校行事の入学式、体育祭、卒業式に本会を代表して田中会長が出席した。

総会・懇親会報告

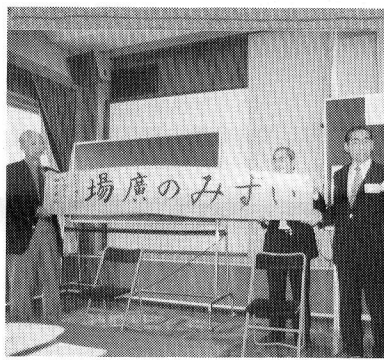
昨年度の総会・懇親会(平成12年10月22日(日))には、一七七名の会員と恩師が集いました。

総会は例年と違い、母校視聴覚室で実施。田中同窓会会長からは活動報告に加え、母校「いずみの広場」に掲示する一枚板の大きく立派な看板のお披露目があり、参加者もびっくり(写真)。その後の、決算・予算報告に続き、昨年度に赴任された高橋校長先生より、最近の母校の様子についてお伺いしました。

総会後の懇親会は、卒業期下一桁が0の期「0の会」が、その企画・運営を担当。朝から昼食も取らずに準備したメンバーも出るほどの熱心さもあり、大いに盛り上がりを見せました。特に昨年は「美味しんぼ大

「1の会」より申し送りをうけ、20世紀最後の懇親会に相応しい会を計画しようと準備会を開きました。総勢20名程の10・20・30期の面々は、初顔合わせにも拘わらず、また今年の懇親会のテーマを決めるという重大な議題も暫しお預けで、各々高校時代の思い出話に花が咲きました。10歳20歳の年令の差はあるものの、休み時間に行った赤線のパン屋、部活帰りに寄った経済ライメン、円形校舎の山田うどんの匂いなど共通する話題の沢山あることに驚き、テーマは「自然と食べ物」に収約、角原氏(高10期)の提案する「美味しんぼ大泉2000年に乾杯」に

泉 2000年に乾杯」というテーマのもと、人脈を駆使して調達した食事、そして3種類の生ビールが大好評。



0の会会長 小川皓司(高10期)

決まりました。10月22日の当日は一七七名の恩師や会員の参加を得て、また美味しい飲食に会場は大いに盛り上りました。10期、20期を中心に受付係や会場係の役割分担もスムーズに動き、30・40・50期の若手も活き活きと加わり、「期の会」の目的が達成出来たと実感いたしました。Sビールの協力と年令を感じさせない10期のパワーと頭脳の結晶により、校歌斉唱の段には懇親会の幕を閉じるのが惜しくらいのまとまりを感じました。

総会・懇親会会場での次回の再会を約束し、来年の「1の会」にバトンをタッチしました。

大泉わがラグビー 人生のふるさと

昨年9月23日、母校文化祭のいずみ会講演は、現在早稲田大学人間科学部の教授として教鞭をとられる傍ら、日本ラグビー協会で理事を勤められて日比野弘氏(高6期)にお話を頂きました。

元全日本の選手として活躍された氏の勇士をご記憶の方も多いと思いますが、その面影をそのままに陽に焼けた笑顔が大変爽やかな方です。大泉高校入学時は野球を志していたのが、赴任したばかりの若い堤先生との縁でラグビー部員として毎日母校のグラウンドを走り回った話し。



大泉わがラグビー 人生のふるさと 日本ラグビー 早稲田大学

また国内外の交流試合で得た友情や数々のエピソードなどを軽妙に話され、また「ラグビーは1チーム15人で戦う最多メンバーのスポーツであり、あの広いグラウンド上の合計30人も選手を、たった1人の審判が追いかけて回し、ジャッジするスポー

会費納入ありがとうございます

いずみ会の活動費は会員皆様から頂く会費が主な財源となっておりますが、その会費制度は平成6年から始まりました。そのルールは同封の会費納入者一覧表の文頭に記載してありますが、その文中の「70歳になる年まで」というのは、「自分の生年月日の西暦+70=数字の年まで」ということとなります。例えば高21期生は西暦1950年生まれですので、1950+70=2020年が納入義務年となり、2021年からは納入義務はありません。今年の2001年から2020年までの合計額2万円を一括で振り込まれると終身会費納入という事になり、気分的にはちよつと楽になるでしょう(今回は裏面が終身会費納入者一覧です。昭和5年生まれの中3期の方は1930+70=2000です

ので、今年から会費納入義務がありません。引き続きご寄付での応援をお願いします)。一方、毎年千円ずつ几帳面にお納め下さる会員さんも沢山おられ、会費納入者一覧表にお仲間の名前を見られ、「元気でいるな」と情報交換をしている方もいるそうです。どちらも本当にありがとうございます。さて、理事会はこの会員の財産を有効に使うべく頑張っています。2面の決算書の通り、ここ暫くは大丈夫ですが、少し先のこと心配です。それは①新入会員数が減る傾向である。母校や我が国とどこか共通した悩みです。②70歳以上の会費納入義務年令を超えた会員が増えてくる。これは本当に喜ばしいことなのです。またこの年代の中には実に積極的な会員が多数おられます。③ここ数年、

ツなので、根本的に選手個人が確固としたフェアープレーの精神を持つことを求められるスポーツである」と解説されました。会場からは「日本代表はなぜ世界にでていくと弱いのか」とか「昨年の早稲田の戦略はどうだったのか」等の厳しい質問が次々に飛び出しましたが、日比野氏は和やかに答えて下さいました。終盤、後輩である現役メンバーに向かい、「都立高校が勝つための秘策」を伝授された時には、会場の全員が息をつめて聞き耳をたてました。閉会后、氏を囲んで大泉現役ラグーたちは明日の健闘を祈りスクラムを組みました。

会計部

会費納入者比率が低率で安定している。ということ。一方、支出面では「会報」に関するものが最大部分です。本会にとつて会報は今のところ唯一で最大の伝達手段であり、執行部は会費納入の有無に関わらず住所判明の全会員に郵送し、活動を知らせています。さて、今年度からいずみ会のホームページをスタートさせ、より多くの会員の目に触れる事を期待しております、また会員からのスピーディーでダイレクトな返信を待っております。いずみ会のお財布を預かりながら、一人でも多くの会員が何らかの形でいずみ会に関われ同窓生として心を通わせることができることを願っております。今後とも同期会などの折りに会費納入や会への参加呼びかけをお願いする次第です。

校長挨拶

第十六代校長
高橋 公治



先日、ある卒業生から電話で、「大泉高校について説明してほしい」との要請がありました。卒業生がまた何でと思ったのですが、会って話を聞くと大学の課題で、「母校」についてレポートを作成するとのことでした。纏々説明したのですが、どうやら、本校での楽しい三年間に比して、自校についてはあまり分かっていなかった様子。卒業生にしてそうです

平成13年度年間行事

- 4月7日 入学式
- 5月9日 体育祭
- 9月22、23日 文化祭
- 10月13日 60周年記念式典
- 10月14日 開校記念日
- 平成14年
- 1月20日 23日 2年生HR合宿
- 3月12日 いずみ会入会式
- 3月13日 卒業式

活躍のついで

都の関東大会予選個人メドレー部門で山本悠太君(2年)が二〇〇・四〇〇mで好成绩をあげ、7月22・23日の関東大会に出場しました。また、8月17日から熊本で開催のインターハイにも出場しました。

から、広く都民に学校を理解してもらうのは難しいことだと実感しました。

そこで、「学校運営連絡協議会」を、学校を開きご理解いただく目的で設置しました。すでに第一回会合を開き、いずみ会副会長の茂木氏と日比野氏からご提言をいただき、学校経営に生かしております。

都立高校は近々学区制もなくなり、いよいよ大競争時代に突入します。現在の評価に安住せず、同窓各位のご協力のもと、大泉の名を高めることが、私の最大の課題です。いずみ会及び会員各位の、物心両面に亘るご支援に、この場をお借りして感謝申し上げます。

▽野球部

今夏の都予選の初戦は、都立狛江高校を8回コールドで下し、次の相手は昨年代表の東海大菅生高でした。5回表が終わったところで0-12。後攻の大泉のコールド負けと誰もが思いました。しかし、大泉は代打を送り、そのヒットをきっかけに粘りを見せ、なんと8点をかえしました。結局惜敗。がんばれ来年。

▽ソフトテニス部

叶実季さん(3年)、山下倫子さん(3年)が関東大会に出場しました。奥山直樹君(3年)、長島亮介君(2年)が都の予選でベスト8になり、8月2・3日に熊本で行われたインターハイにも出場しました。

▽書道

昨年の高文連都大会で教育委員会賞を受賞した谷保祐美さん(3年)が、本年の8月3・4日に福岡で行われた「高文連書道部門全国大会」に都の代表として出場しました。

伊藤香菜子さん(3年)は本年1月の全日本女子サッカー選手権大会で優勝した「日テレ・ベレーザ」でMFとして活躍し、女子日本代表選手となり、12月の「アジアカップ」大会を目指しています。



2001年5月10日 体育祭

60年の節目を迎える母校

大泉高校は今、10月13日の記念行事の準備を着々と進めています。行事の内容は学校主催の式典(全定の全生徒、教育委員会、周辺の公立学校の校長、PTA・同窓会の代表、教職員が出席) PTA主催・いずみ会協賛の祝賀会(生徒を除く各教育団体関係者のうち希望者が会費制で参加)、60周年記念誌(50周年以後10年間の記録が主体)の発行という三本柱になっています。

教職員人事異動(敬称略)

() 転出先または前任校	嘱 嘱託	助 助手
【転出、退職】	教頭 須藤 勝(深沢・校長)	英語 高橋 由美(武蔵村山)
英語 高橋 由美(武蔵村山)	理科助 申谷 耕太(世田谷泉)	社会嘱 園山 繁義(退職)
理科嘱 園山 繁義(退職)	社会嘱 園山 繁義(退職)	進路嘱 中込 勝英(退職)
嘱 嘱託	助 助手	事務室長 楠 隆文
事務 今野 知之(労働経済局)	事務 清水 英雄(調布北)	事務 石井 隆(建設局)
事務 藤井 範子	事務 加藤 俊彦(久留米養護)	事務 石井 宏和(教育庁)
事務 藤井 範子	事務 加藤 俊彦(久留米養護)	事務 石井 宏和(教育庁)
教頭 奈良 隆(大森東)	数学 大橋 博己(王子工業)	英語 荒井 浩(新宿)
英語 荒井 浩(新宿)	理科助 河野 守宏(清瀬)	社会嘱 河野 守宏(清瀬)
理科助 河野 守宏(清瀬)	事務室長 楠 隆文	事務 今野 知之(労働経済局)

進路状況

() 内は既卒者、内数 2001年度版「進路の手引き」より

【国公立大学】 北海道1(1)、宇都宮1、茨城1、埼玉7(3)、千葉2(1)、お茶の水女子1、東京外語1(1)、東京学芸1、東京芸術=音楽1、東京水産2(1)、東京農工4(2)、静岡1(1)、信州1、奈良女子1、熊本1、都立6(5)、都立保健科学1 計33名(内既卒者15名) 昨年比: -4(-5)

【私立大学】 青山学院19(5)、亜細亜6(2)、桜美林1、大妻女子1(1)、学習院13(5)、神田外語1、関東学院1(1)、北里4(2)、共立女子3、杏林3(2)、慶応義塾3(1)、工学院6(2)、國學院1(1)、国際基督教1(1)、国士館6(4)、駒沢6(4)、芝浦工業11(3)、上智6(6)、昭和1、昭和女子1、昭和薬科2、女子栄養1、成蹊8(6)、聖学院1、聖徳1、聖路加看護2、専修10(3)、創価5、大正1、大東文化8(2)、玉川1、多摩美術1、中央38(16)、津田塾3(3)、帝京5(1)、東海4(2)、東京音楽1、東京家政5(2)、東京経済9(3)、東京工科大学1(1)、東京工芸1、東京国際1(1)、東京女子7(4)、東京女子医科1、東京電機6(5)、東京農業16(11)、東京薬科1、東京理科9(6)、東邦1、桐朋学院1、東北薬科1(1)、東洋13(3)、東洋英和女子1、日本32(12)、日本女子5、日本女子体育3、日本赤十字看護1、福岡1(1)、文化女子2(1)、文京女子1、法政46(23)、星薬科1、武蔵19(6)、武蔵工業1、武蔵野音楽2(2)、武蔵野女子1、武蔵野美術2、明治42(17)、明治学院7(1)、明治薬科5(2)、酪農1、立教14(7)、早稲田25(14)、神奈川2(1)、同志社2(2)、立命館2、計468名(内既卒者202名) 昨年比: +78(+41)

【短期大学】 埼玉県立1、職業能力開発1、筑波大医療技術1、防衛医科大高等看護1、青山学院大学4、秋草学園1、桜美林1、駒沢女子1、産能2、十文字学園女子2(1)、順天堂医療1、昭和大医療1、昭和女子2、聖徳2、東京家政5(1)、東京成徳1、日赤武蔵野3(1)、文京女子1、武蔵野女子1、明治2、立教女学院3(1)その他 計38名(内既卒者5名) 昨年比: +16(+4)

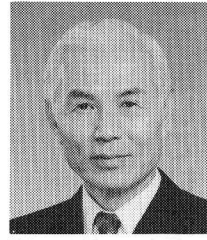
【専修・各種学校】 文化服装学院、エコール・キュリネール国立、杏林大付属、都立豊島、日本美容、代々木アニメーション学院、東放アナウンス学院、第二国際文化理容美容、東放学園放送、横浜リハビリテーション、東京コミュニケーションアート、東京医療秘書福祉、東邦学園、東京医療、大原簿記、武蔵野調理師、東京リゾート&スポーツ、国際航空、東京法律(計19名)

【就職】 警視庁婦人警察官III類1、木村屋総本店1、(計2名) 昨年比: +2

恩師近況

吉野 尚也 先生

前校長 H7〜12



田中会長をはじめとする「いずみ会」の皆さま、五年間本当にお世話になりました。深謝、深謝です。

昨年3月、大好きだった大泉を定年退職し、4月から東京女子体育大学に勤め、二年目になります。授業は月・火・金それぞれ二コマずつの三日間、二十年振りに授業の楽しさを満喫しています。

部活は関東リーグ・全日本共に強豪「テニス部」の部長、「吉野ゼミ」は「やる気エネルギーを生む指導法の研究」をテーマに和気藹々です。文字どおり女子大生に囲まれての日々ですから、少しは若返ったのかもしれない。

10月13日「大泉60周年」でお会いできることが楽しみです。

吉田 登代子 先生

体育 S49〜H4



大泉から武蔵に転勤して早九年。東伏見アイスパリーナ横の坂道を

軽快に昇降できたかどうかでその日の体調を占っていました。が終に今年

から電動自転車にかえ、三〇分の道程を楽にしました。体育実技は、平成元年に頸椎の手術をしてより、殆ど口ばかりになってしまいました。が、相変わらずダンスだけは例外。スパッツにレグウオーマーの出で立ちで頑張っています。部活は体操部。流石に示範はなしです。休日は最近又乗り始めた主人のバイクや息子のバイクに乗せてもらい、両親の病院見舞いに、又行楽にツーリングを楽しんでいます。先日、私の退職日までに、千日を切ったと教えて下さった同僚がいます。光陰矢の如しです。

原田 肇 先生

社会 S23〜38



一九八六年三月、都立高校教諭を定年退職しました。その後教科書・地図の出版社に三年、ついで私立中高校に二年、職を得ました。いまは毎日家庭内の雑用に追われて、窮々自適の生活です。ただ時間の余裕が出来たので、はじめN学院、いまはJ大学(公開講座)に通ってロシア語の勉強を続けています。四〇年近く授業をする側から、授業を受けるという立場に変わり、多数の講師と出会うと、私の授業方法について、多く反省箇所に気がきました。記憶力の低下、非効率で、予習や復習にかなりの時間を取られますが、

畑野 正毅 先生

数学 S25〜41



私は定年と同時に、偶然にもすぐに、絵画技術ゼミに入り、カゼイン、ミックス、エッグの順にテンペラの板絵の技法を習い、油絵と進みました。夜での研究会なので、食事等不規則になり、十年余り熱心に通いましたが、体調を崩しそうになったので、残念だが止めました。今はそれを発展させればよいのですが、五十号の画板二枚も休眠状態です。

また、数学の小人数の勉強会も長く続いてきましたが、グループをとりまく環境が病気等で変化し、集まる機会が少なくなってきました。尚、今日まで教壇に立てたのは、そこで出会った多くの人々のご厚情とご支援があつたことと思うこの頃です。

市村 順子 先生

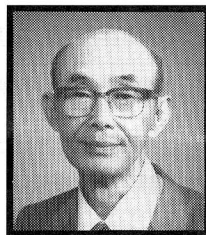
理科 S25〜57



春の日、玄関を出て桜の吹雪くように散る中を戯れ歩いたこと。

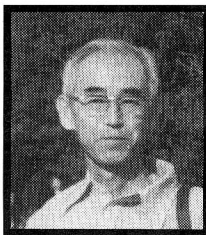
秋には、銀杏の葉の黄色の山に飛び込み散らした。学校卒業して赴任したのは、島の中の古い木造の大泉高校でした。自然が豊か、カエル、

追悼



松井 慶次 先生
平成13年1月17日没
享年87歳 理科
昭和16〜31年在勤
従五位勲五等瑞宝章授与

バツタ等実験の材料も豊富。パケツの中にたまにバシヤバシヤとカイツブリも。これは三宝寺池へ返してやりましたよ！窓の外には農夫の鋤の音が聞こえてくるようだったこと。夜遅くまで、生徒会規約案を練る委員を指導しておられた、今は亡き先生の姿。時の流れと共に、周囲も校舎も変化して、大泉名物の湖も姿を消した。こと等々。懐かしく思い出すこの頃。元気にしています。



橋本 精一 先生
平成12年12月19日没
享年86歳
昭和23〜54年在勤
国語科

昭和20年4月、私は大泉中学に入りました。軍国時代のこととて、当時の先生方は生徒に対し鉄拳制裁を加えたものです。が、松井先生に殴られた記憶は一度もありません。先生が温厚なお人柄でいらした証拠だと思えます。高校になると理科の科目は選択できるので、高二の時松井先生の生物を受講しました。話し方がとても分かりやすく、黒板に描く絵は精巧を極めました。高三の時担任で、進学について親身に相談に乗って頂いたことを五十年たった今でも思い出します。ご冥福をお祈り致します。(高3期 西田学)



工藤 信雄 先生
平成13年4月2日没
享年83歳
昭和30〜55年在勤
体育科

手元に十年ほど前に橋本先生が上梓された歌集「品川付近」がある。旧制静岡高等学校時代から詠まれた歌が年代順に編集されており、激動の昭和を生きた先生の短歌による自分史とも言える歌集である。私はこのご本を何度となく読み返し、その都度、先生の詩情溢れる感性と鋭い洞察力、そして何よりも一貫して変わらない人生に対する真摯な姿勢に深い感銘を受けてきた。亡くなられて半年。私のご冥福を祈るまでもなく、先生は迦陵頻伽の飛び交う中、極楽浄土の旅を楽しまれ、すばらしい歌をお詠みになつているに違いない。手に触れて菩薩の形をたどりゆく大仏さまの蓮弁めぐり」というお作のように。(高8期 横山(北村)光麿)

工藤先生とは入学以来四〇年以上になりましたが、昨年講道館九段への昇段祝賀会での元気なお姿が最後となつてしまいました。大泉に赴任されて早々に柔道部が出来、以来顧問として指導して戴きました。先生の柔道経歴の中では出来の悪い弟子でしたが、私が大学に進学しても柔道が続けられたのも先生のお陰と感謝しております。先日OB、現役の合同練習に参加した折、都立高校随一の立派な道場で潑刺とした現役の姿と四〇年前の工藤先生が重なり、感慨深い思いでした。ご冥福をお祈り致します。(高15期 佐藤徹太郎)

緑 蔭

いずみ会文庫

「いずみ会文庫」は一九九七(平成9)年に当時の校長吉野尚也先生のご提案により、母校六十周年記念事業として発足しました。設立した同文庫は4年目を迎えた今、本も次第に集まりつつあるとの話しを受け、その現状を母校に訪ねました。

母校の校門から入って一番奥に建つ4号棟。その最上階、3階の右端に図書室があります。一九八三(昭和58)年に4号棟が新設されたことに伴い、円型校舎2階から移転したものです。ガラス張りの扉を押し開いて室内に入ると、左側に司書室、右側に図書資料室があり、図書資料室の入口正面に「いずみ会文庫」の書架が設置されています。

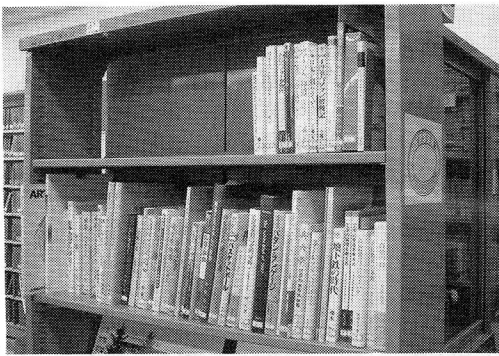
会報第41号の吉野先生の寄稿によりますと、「各界で活躍している卒業生の出版物や作品などを、在校生に読ませ、見せ、聴かせることにより、先輩に対しての尊敬や畏敬の念を抱かせるとともに、彼ら在校生の目標とさせたい」との主旨でした。会報等で呼びかけをしたところ、会員や恩師の皆様から、数多くの著作等が寄せられました。

現在までに寄贈された蔵書は70余点。一昨年の母校文化祭でいずみ会の企画として講演を行っていたいたNHKキャスターの著書をはじめ、中1期の大先輩の医学専門書や、還暦を過ぎた弁護士が自ら半生を語った自分史、教職に就いている卒業生の作った受験問題集、写真部OBOGの写真集、洋書の訳本、仕事に関連した各分野の専門書、長い海外生活で知った他国の文化事情を綴った著作、TVで紹介された自身の研究を収録したビデオなど、様々なジャンル

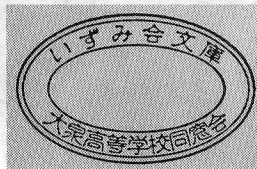
のものが並んでいます。中には音楽評論から神道、パソコンと多岐にわたる著作を起した方もいました。まさに各界で活躍しているいずみ会会員の姿が書棚から見取れます。

恩師の方々の著書も所蔵しています。間瀬元校長が執筆された教育問題に関する著作、国語の石上先生のエッセイ、橋本先生の歌集、OBでもある元バスケット顧問の中川先生(高20期)のバスケットボール入門書など多数あります。一冊一冊に洒落たデザインの蔵書印が押され、きれいに書架に並べられています。

司書の賀沢さんの話では、時々生徒たちも手にとって読んでいます。うですし、これから増える本に対して、書架の余裕も十分に取つてある



このことでした。六十周年に向けて着々と充実してきた「いずみ会文庫」ですが、70余点の力作も、書架に並べると2m足らず。幅約1.5m、1連5段のスチール製書棚の1段半のスペースに納まつてしまい、まだまだ視覚的には「ごちんまり」した感否めませ



「著作に限らず、共著、ビデオ、CD等、書架に並べることの出来る作品ならば歓迎」とのことですので、

会員の皆様には今後も是非ご惠贈いただきたく、ご案内いたします。現在ある蔵書の多くはご本人からの寄贈によるものですが、知人の方はおちろん、作者と一面識のない方からのご惠贈も喜んで受け付けています。

「いずみ会文庫」は、大泉魂を宿した「文化の宝箱」として次代へと受け継がれていくことでしょうか。母校の創立六十周年を記念して、この素晴らしい財産を、皆さまの手でより大きく育てていただきたいと思

ます。(会報部)

「いずみ会文庫」に著書等を寄贈される方は、お名前・ご連絡先・会員ID(もしくは卒業期か卒業年)を明記のうえ、左記宛先までお送りください。ご本人の著作でない場合は、作者のお名前・卒業期または卒業年を併せてご記載をお願いします。
〒178-0063 練馬区東大泉 5-3-1
都立大泉高校内 いずみ会文庫 宛

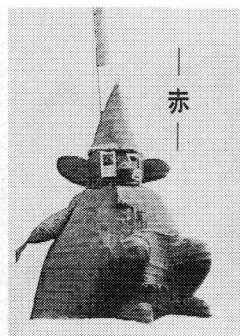
反響ぞくぞく

「マスケット年表」

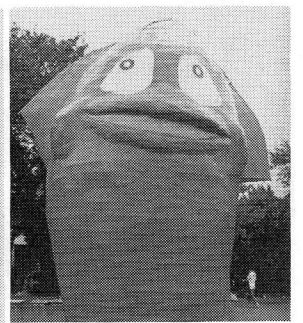
前号で掲載した「マスケット今昔物語」の記事について、会員の方々から多くのお便りをいただきました。とりわけ元マスケット委員長の中村匡宏氏(高42期)は年表の不明部分をインターネット上で呼びかけて情報を集めてくださいました。

皆さまのお蔭で、左表の部分を補足することができました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

なお、下のキャラクターの名前をご存じの方は、ご一報ください。(会報部)



眼鏡とトンガリ帽(S35)



全身、緑色です(H3)

マスケット年表

*ゴシック文字は新規判明部分。
()内は情報をくださった方(敬称略)

昭和30年	雪ダルマ/赤ダコ/ペンギン	[高8期 舟橋徹・三上博史]
32年	ゴジラ/タヌキ/白ブタ	[高10期 鈴木(中馬)京子]
43年	グズラ/ドン・ガバチョ/ゲゲゲの鬼太郎	[高21期 植村久・実戸一晴]
62年	[文化祭] ゴジラ	
63年	[文化祭] ドラゴン	
平成元年	[文化祭] トトロ/ミニトトロ	
		[以上 高42期 中村匡宏]
4年	ゴマちゃん/「NECバザール」のさる/キョロちゃん	
	[文化祭]「伝染るんです」のかわうそ、かっぱ、斉藤さん	[以上 高47期 渡邊弘毅]
5年	ケンケン/クレヨンしんちゃん/がじゃいも	
	[文化祭] ピンダー	[高47期 渡邊弘毅・高48期 藤本若菜]
6年	[文化祭] ミッフィー(うさこちゃん)	
7年	[DCカード]のキャバとタヌキ/ミニトトロ	
		[以上 高48期 藤本若菜]
	※前号で平成8年と記したのは誤りでした。	
8年	オバQ/ドロンバ	[稲垣希先生(生物)]
12年	[文化祭] ドラえもん/コロ助	[高42期 中村匡宏]
13年	くまのプーさん	[北上俊人先生(国語)]

同期会だより

高3期 良き歳重ねて

田部 一郎

大泉高校3期生の同期会は11月25日(土)西銀座コックドールに於て49名が参加、盛大に行われました。今回は卒業以来50年振りに参加された方、はるばる関西から上京された方、また紅一点の土肥さん(旧姓大城)などまさに多士済々のメンバーでした。

会はずまず亡くなられた方への黙禱、山岡幹事の挨拶、乾杯の音頭は初参加の片岡さん、その後懇親会に入り、初めは顔の分からなかった人も昔に還り和気藹々、大いに盛り上がり、あっという間の2時間半でした。最後に全員で記念写真を撮り、宮寺幹

事の発声で三本じめを行い、また2年後の再会を約して散会しました。現在闘病中の方も多いのではと思いますが、早く健康になられて次回は是非参加して頂きたいと願っております。また、我々の今後の課題はいかに良く年齢を重ねていくかということだと思っております。私の知人の御母様が95歳で天寿を全うなさいましたが、日頃句を詠まれていて、こういう歳の重ね方は素晴らしいと感じましたのでご紹介させていただきます。

『老いの春喜怒哀楽のある余生』

高26期 初めての泊り会

鹿島 千恵子

「今度の同期会は、一泊でのんびり温泉

に行きたいね。」という声が多く、それではと、3年に一回の会を一泊どまりで企画しましたが、ドタキャンに次ぐドタキャン続出で、結局、総勢13名と寂しいものになってしまいました。それでもメゲずに新潟の温泉に行ってみようとした。

キャンセルした皆様、残念でしたね。とても楽しかったですよ。

出発した時からテンション高く、飲み、食べ、笑い続け、数々の(とても書けない様な)珍事件を起こしながら、バスは一路新潟へ。あいにくの雨模様だったのに、トンネルを抜けると美しい虹のお出迎え。もう気分は最高! のんびり温泉につかり、楽しい宴会を終え、もうマクラ投げまでしそうな修学旅行気分でした。それでも年には勝てず、12時前には全員ダウンでした。

2日目は快晴に恵まれ、少しだけ山を歩いて紅葉を楽しんで家路につきました。

参加できなかった皆様、ごめんさい。今年中にいつもの様な同期会を開くことを企画しています。お楽しみに……。



高8期 いつも心豊かに

宇田川 公子

21世紀初同期会を4月7日(土)に池袋の東武バンケットホールで開催しました。出席者は121名。

茂木氏の巧みな司会で会が始まり、まず畑野先生、土屋先生、中山先生に近況を話していただきました。次いで遙かオランダから参加の草野氏の音頭で乾杯。あとは自然に歓談の輪が広がりました。今回は着席ビュフェスタイルにしたので、時間がゆったりと流れたようでした。

価値観が多様化しつつある時代に人生の転換期を迎えた8期生。新しい目標を見つけ自分を磨いている人、長年の経験、知識を社会に還元している人、親の介護をしながら現実を直視し、高齢化社会の在り方を

考えている人、病を克服した人、和やかな語らいが止めどなく続きました。境遇の違いはあっても、心豊かな日々を送りたいというのが皆の願いでした。

最後に中山先生の指揮で校歌、校友の歌を大合唱して散会しました。

前回、笑顔でお別れした花崎先生、橋本先生が昨年他界されたことは残念でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

高15期 母校でホームルーム

森田 陸四郎

15期は2年に一度、同期会を開催しています。昨年は世紀末ということで、同期会を2000年11月18日(土曜日)母校で開催。「15期同期会ミレニアムミーティング」と称して母校会議室でホームルームを開きました。ホームルームに、須藤教頭先生がご出

席になり、大泉高校の現況を「講義」して下さいました。在学当時のホームルームと異なり、私語を交わすこともなく熱心に教頭先生のお話に聞き入っていました。また、開校20周年に配られた文鎮が回覧され、その思い出話に花が咲くなど、三十数年前にタイムスリップして、楽しいひとときを母校で過ごしました。そのあと、会場を高田馬場のBigBoxに移し、堤先生も参加され、懇親会が賑やかに開催されました。

懇親会では、各クラス単位に現況報告しました。参加延べ人数は約80名でした。母校での開催にご尽力頂きました高橋校長先生、須藤教頭先生、植村先生を始め多くの先生方に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

来年(2002年)の晩秋の頃、15期同期会を予定しています。昨年出席出来なかった人も、出席された人も是非ご参加下さい。



高24期

タイムスリップ空間

真柳 仁

2000年11月25日、池袋のサンシャインシティプリンスホテルにおいて、高校24期の同期会が行われました。4年前に第一回を開き、4年毎、すなわちオリンピックイヤーに定期的に開催しようということになっていましたが、二回目ということだったからでしょうか、出席の返事の集まりが非常に悪く、幹事を不安にさせました。しかし当日は前回より少ないとはいえ、80名近くの参加があり、大いに盛り上がりました。先生も金尾先生(社会)・松尾先生(体育)そして安藤先生(数学)をお迎えできました。特に安藤先生は数日前、手術をされたばかりということでしたが、入院中の病院から駆けつけて下さいました。ちなみに写

真は手術後とは思えないくらいお元気な笑顔の安藤先生です。

二次会にも60人の参加があり、盛り上がりました。11時頃に話しは尽きないけれど、次回を約束してお開きとなりました。

私たちは、高校を卒業して今年で30年になります。それでも、会えば話題は30年前にすぐタイムスリップできます。同窓会というものはありがたいものです。

高21期

いつでも心のオアシス

森 悦子

2000年11月11日、新宿モノリスビルはタイムスリップしていました。5人の先生方を囲んだ87名の同期生は、明るく闊達な大泉生そのもの。イベント商会の店員になり切った幹事団と快く協力してくれた出席者。この団結力は、カッコつけずに過ごせる仲

間がある有り難さや、素直になれる自分を知る大きな収穫でした。

あの頃熱血先生だった、恒松、金尾、細川、荻野、田上諸先生も、ステキな年齢を重ね、今では燦し銀の魅力あふれる紳士。良いお手本を目の前に、私達も日々充実させなくては、と改めて決意しました。

スピーチ、乾杯、歓談以外に初めて試みたビンゴは場も盛り上がり、一体感ができ好評でした。ホイッスルに鉢巻き姿の応援団も登場し、校歌、応援歌唱和の好リードぶりに一同感激。

再会を機に、バンド結成、スポーツ仲間作り、あちこちでのクラス会など活気あふれる知らせが届いています。

同期会はホッとできる数少ない場。ちょっと疲れている貴方！次回出席がお勧めです。青春は、これからですよ。



OB・OG会

演劇部

秋山 京子(高11期)

演劇部OBによる「かたすみ会」は11期生を中心に発足し、その後、9期生から13期生までが加わり今年で43年になります。

当初は毎月のように喫茶店に集まってダベリングを行なっていましたが、今は年一回、忘年会の開催がメイン行事です。

でも、たまには旅行をと、今年5月、二回目となる温泉旅行を箱根で開催し、夕食後、全員が短編朗読を行なうという演劇部OBらしいイベントを初めて実施しました。

メンバーの多くが還暦を過ぎましたが、精神的にはさほど進歩しておらず、顔を合わせると瞬時に43年前に戻って、バカに徹することが出来るところが一番の良さです。

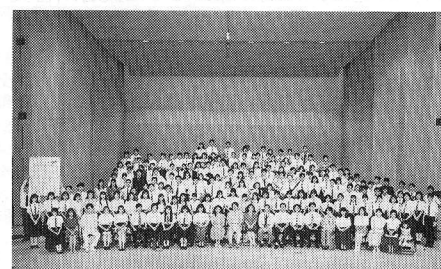


先輩、後輩を集めたオールOB会は、過去一回しか開かれていませんが「かたすみ会」の里心としては、再度、大OB会を願っています。先輩の皆様！ぜひ！ぜひ！

吹奏楽部

圓井 由里(高38期)

石神井公園の野外ステージに端を発したOB会主催のサマーコンサートは、1990年より都内のホールで行われるようになり、96年よりそれまで別々のステージだった現役との合同演奏の機会ももたれ、幅広い年齢層が同じ土俵でひとつの曲を奏でるのは、双方にとっても良い刺激になっています。創設40周年にあたる今年は、ますます活動が活発になり、3月31日には和光市サンアゼリアホールで室内楽のアンサンブルコンサ



ートも催されました。当日は大雪に見舞われましたが、地元の方々やOB・OGが多数来場し、盛會に終わりました。8月12日には練馬文化センターで創設40周年記念演奏会が盛大に行なわれます。今後も変わらぬ和気あいあいとした活動を続けてまいります。まだ参加されたことのない方、大歓迎。久しぶりに一緒に吹いてみませんか？

柔道部

田畑 博章(高31期)

去る6月30日(土)に大泉高校柔道部OB会を開催いたしました。5月2日に、柔道部の開設と発展にご尽力いただいた工藤信雄先生がご逝去され、その追悼の意味も込めて、呼びかけましたところ、ご多用中にもかかわらず延べにして60名ほどの方にご参集いただくことができました。

第一部の現役生徒との合同練習会では、卒業して二年目のOBから、上は親子ほど歳の離れたOBまで30名ほどと、現役高校生との練習となり、共に爽やかな汗を流し合いました。技の講習会等も行い、現役諸君もOBの技能の妙技に感服しておりました。

第二部のOB同士の懇親会は、工藤先生への黙禱で始まりしました。大泉学園駅にほど近い「笹仙」の座敷を貸切り、昔話や現在の状況、仕事話などで盛り上がり、盛會のうちに終わることができました。OB会へご援助いただいた方々へも感謝いたします。ありがとうございました。

田上先生を囲む会

内田 彰 (高19期)

今年の3月末、我々の兄貴分の田上先生がなんと定年により退職と聞き、自分自身も年を自覚しようという趣旨で「田上先生退職記念同窓会」を開催しました。

5月12日(土)池袋サンシャインビル59階に先生ご夫妻と担任された19期の各クラスを主力にボート部OB、助教OB、20期有志など総勢47名が集いました。先生は我々より7歳年上だったはずですが、今では元生徒のほうが老けて見えるほどでした。

先生からの挨拶に加えて元生徒からのリクエストで最後の授業が行われ、アルコール性アルツハイマーの元生徒が多数でしたが、「環」とか「群」という最先端数学の片鱗を教えて頂き、再度数学を頑張ってみようか、という気持ちになりました。それは立派でしたが、その後二次会へ乱入したため、その健気な決心はどうも霧散したようです。



http://www.photohighway.co.jp/Top-Home.asp

山岳部

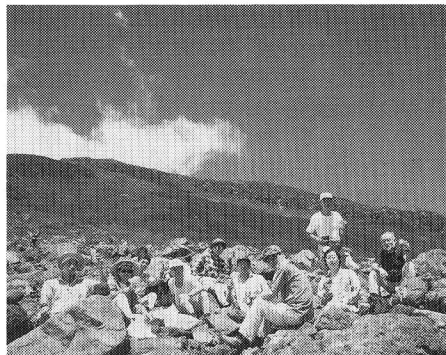
山下 嗣夫 (高9期)

昭和25年に発足した山岳部は年を追って充実し、30年代のエヴェレスト・マナスルの時代に大発展を遂げました。

夏期の南・北アルプス縦走に、冬期は奥秩父・南アルプス・八ヶ岳などに情熱を注ぎました。

OB会はその頃のメンバーが中心で、高8期～高21期ぐらいの有志15名ほどで気楽な付き合いを続けています。

屋久島宮の浦岳・開聞岳・伯耆大山・知床羅臼岳・斜里岳・利尻山・早池峯・鳥海山・モンブラン・剣岳などに登りました。



本年7月には知床の硫黄山を目指し、風雨のため途中下山となりました。

登山だけでなく新・忘年会、日原谷山賊キャンプ、海釣り会、折々の飲み会と楽しんでます。OB・OGの皆さん、情熱に再点火して若さを取り戻しにきませんか。

連絡先

藤野八郎(高8期) 0424-21-4006

山下嗣夫(高9期) 0424-72-6449

音楽部合唱班

戸田 正 (高4期)

コーラス部、合唱部等色々な名前の時がありました。とりえず現在は大泉OB・OG合唱団です。

昭和22年に岡部先生が生徒を集めて、パート分けしたのが発端で、男声合唱部が誕生し、年月がたつうちに混声合唱部として全国合唱コンクールにも何回か出場し、「日本放送協会」から謝礼をもらったこともあり。気がついてみると何時の間にか、岡部先生のもとに若い人(もと?)の集団ができていました。

合唱団で今、唱いたい曲の一つが「美しき碧きドナウ」です。譜面も配られているのですが、先生はなかなか棒を振ってくれません。あの洋々と流れるドナウを思うと、今のメンバーでは迫力に欠けるのかも知れません。皆さん! ドナウを唱いに来ませんか? 練習日は毎月第三金曜日の夜です。



剣道部

和田 まほ (高37期)

4月28日に「うなぎ はせ川」で有志によるOB会が行われました。これは、37期の主将であった林くんのお母様のご葬儀で久しぶりに顔を合わせたOBから「皆で集まろう」との声があがり、同期の浜岡くんが企画してくれたものです。会場となった「はせ川」は、38期の部員だった長谷川喜美子さんのご実家です。当日は、36期の白井良典、大里文夫、京野真也、37期の林吉祥、浜岡一充、京野千影、松井ひとみ、42期の黒田新悟、佐藤憲正各氏が出席しました。数多い運動部の中でも、男女が一緒に練習をするのが剣道部の特徴であり、十数年ぶりに再会しても、すぐに家族的な雰囲気。松井さんからは結婚の報告も飛びだし、和気藹々とした時間を過ごすことができました。次回はいっと多くの方にお声が

けをして開催したいと考えています。

将棋部

西澤 幸夫 (高29期)

将棋部OB会は、1学年1~4名しかいない上、現役時代も年齢差より棋力が重視されていたので、先輩後輩の関係がゆるやかな「仲間」として活動しています。

かつては、夏休み・冬休み・春休みと文化祭の、年4回集まっていたのですが、このところは、新年会と夏の海水浴の2回に減り、数年顔を見ない人もいる点、少し寂しい所です。

一方、有志で、社会人団体戦(1チーム7人のリーグ戦、年1期4日制)に6年前から参加し、昨年からは2部の一員となっています。企業や大学OB、将棋道場の選抜チームがひしめく中、高校OBチームではまれな戦績で、記録用紙の凡例に使われたり、主催者のホームページに対戦風景が載せられたりしました。時代の流れて現役高校生との交流がなくなったのは残念ですが、子供を連れて現われるOBもいて、別の楽しみも出てきました。比較的、年齢に関係なく続けられる競技なのでいつまでも楽しみながら続けられればと考えています。

サッカー部

稲垣 智之 (高33期)

サッカー部OB会は例年通り4月第一日曜日の4月1日に母校で総会を行ないました。今年は前日に雨が降り、グラウンドは沼のような状態。OBの集まりも少なく、超OBと女子チームの親善試合は早々に中止となりました。しかし、母校へ来て、ボールを蹴らずには帰れない元サッカー小僧達は、少し乾いた場所を見つけて、ミニサッカーを始めました。各年代混成チームでもボールを追いかければまとも、ひとしきり汗をかきました。

場所を会議室に移し、ビールを飲みながらのOB総会では、長年に亘り会長を勤めて頂いた鰐川省三氏(昭23卒)から小川皓司氏(昭33卒)への引き継ぎが行なわれました。現役諸君とも活発な意見交換をかわし、今年のOB総会も桜満開のなか終了しました。



バスケット部

秋田 茂 (高29期)

毎年9月に開かれる母校体育館でのゲーム中心のOB会でなく、有志でたまには集まって飲もうという話がおこり、声をかけたところ、14名が参加、ミニミニOB会が開催されました。飲むことが目的の都心の会となり、話題も広がり愉快的な時間を過ごしました。また、今回の集まりは、OB・OG会のホームページ立ち上げを祝う会でもありました。ITを活用し、会員相互の交流の場として、時間・距離・年代をも超えた交流をネット上で展開していきます。是非御覧ください。

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Club/1518>

当日の参加者は、安藤(S32)、中島、光田(S33)、安藤、結城(S34)、榊原、丸地(S35)、矢谷(S36)、国谷(S37)、安藤、式田(S40)、秋田(S52)、島田、宮川(S56)



陸上部

浅羽 純一 (高42期)

陸上部では、例年8月頃に現役生の主催で、OB・OGと現役部員との対抗試合(OB戦)が開催されます。ここ数年は現役生の活躍がめざましく、OB・OG組はなかなか勝つことができませんが、勝つことより昔を思い出しながら自分の体力の衰えを感じつつ、無理のない範囲で楽しんでいま

す。また、その後の交流会では、各OB・OGが現役当時の練習の様子や、かつての自己記録などを披露し、現役生との交流も深めています。

OB・OG会の動向としては97年に、創部50周年を記念した「50周年記念会」を開催しました。60名以上の参加をいただき、初期のOBから創部当時の話なども聞け、大いに盛り上がりました。

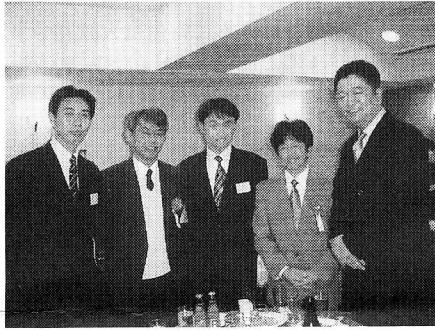
また、90年には卒業生による陸上チーム「大泉バリエーション」も設立され、練馬区民大会や区民駅伝等に出場しています。



ソフトテニス部

石橋 直彦 (高23期)

ソフトテニス部(旧称:軟式庭球部)は高校第3期から現在までに700名を超える卒業生を送り出しています。平成11年12月には創部50周年の記念総会が開かれ、幅広い年代から100名ほどが参加されました。通常のOB/OG会は6月と12月頃に大泉



高校のコート、会議室をお借りして開かれます。

ソフトテニス部はスポーツが盛んな大泉高校にあっても、非常に活発なクラブで、毎年大会で活躍をしています。今年度も顧問芦田先生のご指導のもと、男子が個人戦でインターハイへ、また女子が個人戦、団体戦共に関東大会へ出場しました。私立校に強豪が偏っている現在、都立校の力を見せてくれたことに、OBとして嬉しく思っています。

ラグビー部

増田 孝次 (高19期)

平成12年度は、4月1日にOB総会を開催、高校7期の松村重雄会長はじめ50名ほどのOBが集まり、現役との交流試合に汗を流したあと、円形校舎で懇親会を行いました。6月には小石川高校との現役・OBの定期戦を予定していましたが、雨のため実施できませんでした。7月30日には、秋田高校東京OB会の総会が開かれ、高校15期の石川幹事長など3人がゲストとして招かれて、両校OBの親交を深めました。さらに、11月26日に、大泉のグラウンドで秋田OBとの親善試合を行いました。前回に続いて大泉の勝利に終わり、この結果に納得できない秋田から、リターンマッチの申し出があり、今年3月18日、再度10人制の試合を行いました。この日は、堤先生をはじめ日比野名誉会長等も見えられ、賑やかな交流会を催すことができました。



お知らせ

■高6期同期会

日時・10月13日(土) 17:00~

場所・レストラン「DAIBA」

連絡先:今村邦夫 TEL/FAX・03-5982-4668

■高9期同期会

日時・10月27日午後5時より

場所・新宿京王プラザホテル42F「高尾」

連絡先・北條勝巳 TEL/FAX・045-663-3663

■高26期同期会

日時・10月27日(土) 17:00~

場所・渋谷東武ホテル

連絡先・鈴木宗樹 TEL・03-3782-8964

声

■いずみ会会報部の皆様、いつも内容豊かな会報をありがとうございます。私は、特

に同期会がどこで開催されたか、いつも注目しています。場所探しは、幹事の一人として頭を悩ませますが、二次会会場とも参考にさせていただいております。

(堤(福田)美穂子・高8期)

■同総会のホームページ開設は賛成です。連絡先不明の方々のリストを定期的に公表していただければご協力出来ると思います。(木村智寿・木村(高木)伸子・高34期)

■同窓会の盛況ぶりを見るにつけ、ああ、いい学校なんだなと、思います。今の17才の少年たちと比べて、いい時代に過ごしたとも。現代に生きる子供たちは本当に大変だと思えます。でも負けないでほしい。

(渡辺 緑・高20期)

■44号会報にて宇高先生の近況を知り、嬉しいです。臨海学校が我々の年が初めてだったとは! 遠泳をしたこと強烈に覚えて

います。(南(杉浦)和子・高18期)

会員計報 (敬称略)

心よりご冥福をお祈りします

中1期	井田 桂一	平成12年5月29日
高3期	杉本 公守	平成13年4月21日
高3期	藤本 尚	平成13年4月11日
高5期	大木(矢田)寿子	平成13年5月16日
高5期	神戸 真一	平成13年3月13日
高6期	島崎 隆	平成10年5月1日
高7期	太宰 義克	平成12年6月30日
高8期	野中 英樹	平成13年6月29日
高9期	桜井 弘樹	平成11年10月14日
高9期	竹内 相一	平成13年3月14日
高9期	寺木 孝義	平成12年12月8日
高15期	高田 典子	平成12年7月1日
高19期	平島 港	平成11年11月12日
高25期	徳田 幸子	平成12年9月10日
高25期	羽部 公彦	平成12年11月23日

11・11 母校 総会・懇親会のご案内

『いいつき・いいひ。たまには来いよ、大泉』

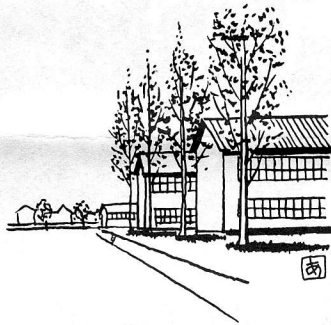
- ★年1回、いずみ会の会員が集い、懇親を深める場、それが「総会・懇親会」です。
- ★今年、旧制中学校の卒業生、及び卒業期の下一桁が1の期が、「1の会」を結成し、当番期として、懇親会を盛り上げます。
- ★恩師の近況がわかるパネルや、昔懐かしい写真など、見ているだけで楽しくなるコーナーも設置されます。
- ★ご出席の方は同封のがきにて、10月25日までに、ご連絡ください。

と き：平成13年11月11日(日)

12時30分～ 受付開始
 13時～ 総会
 13時30分～ 懇親会
 15時30分 お開き(予定)

ところ：母校 大会議室・多目的教室

会 費：中1期～高40期 2,500円
 高41期～高50期 1,000円
 高51期～高53期 無料



会報記事の取材やホームページの更新など、多岐にわたる仕事の中のお手伝いしていただける部分をご担当いただきます。老若男女を問いません。

いずみ会総務企画部内「みんなで作ろう、いずみ会」係まで、ご連絡下さい。

創立60周年協賛事業への ご協力ありがとうございました

21世紀最初の年、母校は、創立60周年を迎えました。

少子化や都の財政難など、学校を巡る環境は日々厳しさを増しています。学校統廃合の問題もあり、生徒にとっての大泉、地域にとっての大泉がどうあるべきか、母校そのもののアイデンティティが問われ始めているのが「還暦の大泉」です。

そうした私たちの思い出の場の母校を、現役の生徒にとっても良い思い出となる学び舎にすべく、創立60周年記念事業へのご協力をお願いしたところ、前年度末までには、381名の皆様方に協賛いただきました。ありがとうございました。その後のご寄付につきましては、次号でご報告いたします。ご協力いただいた協賛金は、母校の存続と発展のため、傷んだ母校の環境を改善するため、そして図書館に設置されたいずみ会文庫の整備や、「60周年記念誌」作成資金として使っていただくようお願いをし、母校の記念事業準備委員会へお預けするとともに、校内の「いずみの広場」(同窓会コーナー)の整備にも充当させていただく予定です。

いずみ会連絡窓口

ご意見、ご感想、住所情報等は下記の方法で連絡をお願いします。

- 同封のハガキにて、お寄せ下さい。
- 郵便 〒178-0063 練馬区東大泉5-3-1 都立大泉高校内 いずみ会
- FAXなら、 **03-3920-2374**
- Eメールなら、 **izumikai@v7.com**

編集後記

■会員の皆さんが様々なサークル、クラブのOBOG会などで日頃から親睦を深めているとのことで、本号は出来る限りの取材をしてみました。結果、いつもより1頁多い賑やかな紙面になりました。同窓の輪が色々なところで広がっているのが実感できて、編集していても楽しくなりました。■井手(鶴井) 椒子様(高10期)から「高校時代の思い出はいつまでも懐かしく、暖かいものですね。会報はとても楽しみです。」とお便りを頂きました。会報部一同、今までの苦勞も吹き飛びます。■会報部編集スタッフ 北上俊人(高11期)、森田陸四郎(高15期)、寺章夫(高20期)、荒井真理子(高20期)、植村久(高21期)、仲沢浩一(高32期)

印刷所/一光印刷所 ☎03-3953-3336

役員改選のお知らせ

いずみ会の現在の役員に関しては、平成13年度末をもって任期満了となります。そこで以下の通り、次期役員の見学手続について、ご連絡いたします。

1. 平成14年度5月に開催予定の定時幹事総会において、役員選挙を行います。
2. 役員選挙の立候補届並びに推薦届の提出期限は、平成13年10月1日から、平成14年1月31日までとします。
3. 立候補・推薦の届けについては、以下の事項を明記の上、選挙事務局宛に郵送またはFAXでご提出下さい。(記載漏れがあると、無効になることがあります。)

●〒177-0041 練馬区石神井町3-18-17 西澤様方 いずみ会選挙事務局 宛
 FAX: 03-5393-1186

(届出の際、明記頂く事項)

1. 立候補または推薦する役員の種類(会長・副会長・理事・監査役)
2. 立候補または被推薦者の氏名、期(または卒業年度)、住所、電話番号
3. 推薦届の場合、推薦人の氏名、期(または卒業年度)、住所、電話番号
4. 立候補または推薦の理由(200字以内。幹事総会招集通知の候補者紹介に転載いたします。)

新名簿販売中

会員の皆様のご協力で、昨年10月刊行した新名簿は、好評のうちに、残部僅少となりました。ご希望の方は、同封の振込用紙でお申し込みください。1冊3,000円(送料含む)

会費納入、ご寄付のお願い

- 卒業後10年を過ぎた年度(高43期以前)から、70歳に達する年度までの会員の方は、同封の振込用紙で、年額1000円の会費を納入してください。
 - 数年分の前納もお預かりします。
 - 納入義務のない方もご寄付は大歓迎です。
 - 宛名ラベルにご注目
- 封筒の宛名ラベルには会費納入について次の5種類のうち1つが表記されており、あなたの会費納入状況が確認できます。
- 「終身会費を納入済みです」
 - 「200*年度まで会費納入済みです」
 - 「会費納入は200*年度からです」
 - 「会費納入は同封の振込用紙で」
 - 「ご寄付は同封の振込用紙で」

情報をお寄せ下さい

- 会報いずみでは会員の皆様の集いの様子を毎号お伝えしています。同期会、クラス会、OBOG会等の開催がありましたら、予定も含め情報をお寄せください。
- 住所情報をお寄せください。転居なさった際は、〈同期の名簿幹事〉か〈いずみ会連絡窓口〉へ、ご一報ください。
- また、会員の計報につきましてもお寄せください。

いずみ会にご協力を

いずみ会の運営に関し、会長以下、理事等の役員と共に、同窓会事務局の一人として活動して下さる「事務局幹事」の皆さんを募集しています。